

党市議会議員 中村あさと



2月23日から、定例市議会が始まりました。今議会では29年度の最終補正や新年度の30年度当初予算などの審査を行います。

一般質問では、延長保育料について、DV対策を上げました。延長保育料は、2015年の子ども子育て支援新制度の移行に伴いこれまで1区分だった保育時間が短時間と標準時間の2区分に分けられた事でお迎えの遅れなどでも徴収される様になりました。2区分化は、多様化した就業形態に対応するためとの事です。が、保育時間が2区分になった為延長保育も2区

仕事の都合などで遅れば延長料金が...

分となり、それに対応するための体制が迫られ保育の実施に大きな負担となっています。

また、保護者の立場からも2区分化によりお迎えの遅れなどにより延長料金の徴収が発生してきます。仕事の都合による遅れなど、個人の努力では改善が難しいにも関わらず、料金が伴い新たな負担が生まれています。

私は、子ども達や保護者に安心・安全のより良い保育を提供するためには、延長保育料の徴収ではなく人員等の体制の整備こそが喫緊の課題だと感じています。



保育料を質す

県議会議員 奥村のり子の 読者ニュース



2018年 3月18日 第304号
奥村のり子生活相談所
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
TEL & FAX 073-427-7121
Eメール wjcpken@naxnet.or.jp



福祉環境委員会委員長として頑張ってきました。

マリナーシティに賭博場 こんなこと許せますか？

9日の予算委員会ではカジノ誘致問題など5点にわたって県の姿勢を質しました。カジノ誘致に係る予算が7000万円と昨年より大きく増額されています。誘致先としてマリナーシティが第1候補になっており、主に民間事業者に委託する調査費です。「カジノは産業振興・活性化につながる」と推進をしています。

日本は刑法で賭博を禁じています。多額の金銭をか

ける賭博は罰金、常習的な賭博行為は3年以下の懲役、賭博場を開くと5年以下の懲役という重罪です。

人間関係と社会をむしばみ破壊してしまう賭博は持統天皇の時代からもギャンブル化した双六を禁止していたそうです。健全な街づくりを進めるためにも「和歌山に賭博場はほしくない」の声を大きくし、カジノ誘致をストップさせましょう。

(奥村のり子)

のり子の週刊日誌(主なもの)

- 3月16日 定例会閉会
- 17日 地域訪問、(西脇)
- 18日 リフレッシュユウオーク、調査
- 19日 県つくる会、河西無料生活相談
- 20日 医大卒業式、民医連懇談会
- 21日 会議、地域訪問
- 22日 市駅前事務所無料生活相談

森友文書改ざん問題は 政治情勢激変の可能性

森友学園の国有地の格安払い下げ問題で国会提出資料などの改ざん問題、財務省はやっと認め12日、14点の文書で約280個所の改ざんで80ページの文書を提出。昨年2月下旬からの国会提出資料の改ざんは公文書偽造・変更罪で刑事罰です。消されていた文書が復活しテレビ討論や各紙でも数面に掲載されていますが、大きく過ぎてどこがどうという関係なのか難解ですが、こんな大量の資料を隠蔽した責任は内閣にあります。国会を愚弄し民主主義の根幹を壊すものです。3月7日「本省から文書の書き換えを指示された」とのメモを残し、30年来まじめに勤めた近畿財務局職員が自殺する事態まで起きています。

アベ首相はお詫びはした「なぜこんなことが起きたのか」とまるで人ごとのよう

に語り、改ざんで消された首相夫妻の名前が復活しました。14年4月、籠池学園理事長(当時)に学園予定地を案内された昭恵夫人は「いい土地ですから、前に進めてください」などと昭恵氏と学園のかかわりが5回も登場します。

アベ首相は昨年2月27日に「私や妻がかかわっていたのであれば、私は総理大臣も国会議員もやめる」と国会答弁で断言。その時が迫ってきました。

改ざん文書復活でまた首相夫妻の名前が取りざたされ、早くも世論調査では支持率も下降の動き。捏造データで働き方改革の裁量労働制が削除に追い込まれ、そして森友改ざん文書です。

いよいよアベ政権を土台からゆさぶる情勢大激動の予感。森友問題の本質を学び党勢の上げ潮と大運動をおこしましょう。(編集室)

